

『黄斑円孔に対する網膜上増殖の有無の解析研究』 についてのご説明

① はじめに；黄斑円孔の中には網膜前増殖(EP：Epiretinal Proliferation)を有する症例が約 10%前後あると報告されている。特発性黄斑円孔ではあまり見られないが、分層黄斑円孔や硝子体術後から発症する全層黄斑円孔にはよく見られ、EP を有する MH の手術成績は、視力・閉鎖率・外層の回復ともに不良である報告が散見される。LMH に対しての EP 埋没法は成績が良く、現在本邦でも急速に普及してきている。同一機序であると考えられる EP を有する MH に対しても、有効であると考えられるが、術前に EP を確認するには OCT 検査で確認するしかなかった。実際には術前 OCT 検査と術中所見にはわずかに解離があり、それらの割合を多施設にて検討を行う。

② 対象；2015 年 12 月～2022 年 12 月までに黄斑円孔に対し手術を受けられた方です。

③ 患者の費用負担について；この研究に参加することで、患者さんに通常診療以外の 余分な負担は生じません。

④ 患者の個人情報の管理について；本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策

取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません

⑤ 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について；下記までご連絡下さい。 ただし、ご連絡をいただいた時点で、すでに研究結果が論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたのデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

⑥ 研究期間（調査期間）；（病院長承認日）から 2023 年 3 月 31 日まで

⑦ 利用する情報；カルテ情報；診断名、年齢、性別、身長、体重、画像検査情報

⑧ 研究責任者；高岡市民病院眼科 福島正樹

連絡先 TEL 0766-23-0204 FAX 0766-26-2882

メールアドレス hospitaljim@city.takaoka.lg.jp